

(4) ②様式第4号-2 (報告書)

※原稿サイズはA3、文字はMeiryo UI /12ポイント以上、余白は10mm以上で記入してください。

※各項目の枠の幅は自由に変更していただいて構いません。写真等添付することも可能ですが、必ず用紙の中に納まるようにしてください

【案件名】教員のキャリアアップのために～主幹教諭・指導教諭向け～

案件概要：小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校の主幹教諭・指導教諭を対象にラウンドテーブル方式により、各校の取組を発表し検証することにより、授業力、指導力及び組織マネジメント能力等を高め、各学校における教育力の向上や組織の活性化を図る。

※戦略・アイデア、テーマの詳細や実施方法を含めて記載してください。

本プログラムは、知識の習得を主なねらいとする習得面と、得られた知識を学校で活用することを主な内容とする実践面から構成している。前者は、キャリアに応じた課題やニーズを基に大学教員等による講演を設定し、意見交換を行う。また、後者では、予めテーマを設定し、受講者は希望設定テーマの中での実践の語り合い（ラウンドテーブル）を通じ、受講者による学校での実践を支援することをねらいとする。

実行：

1. 開催日時：平成29年12月25日（月）
2. 場所：鳴門教育大学 講義棟 B201 講義室
徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地

3. 参加した人数（属性ごと）
徳島県教育委員会 教職員課 2名
徳島県立総合教育センター 3名
公立学校教諭 147名
鳴門教育大学 教職大学院教員 21名

4. 当日プログラム

1 講演

〈主幹教諭向け〉

演題「地域連携の構築」

鳴門教育大学准教授 大林正史

演題「カリキュラムマネジメント」

鳴門教育大学 客員教授 村川雅弘

〈指導教諭向け〉

演題「授業研究の高度化」

鳴門教育大学 教授 西村公孝

演題「ICT活用指導力の向上と情報モラルの推進」

徳島県立総合教育センター 教育情報課指導主事 黒田収

2 全体ディスカッション

〈主幹教諭・指導教諭全体〉

指定討論者 徳島県教育委員会 教育政策課教育広報主幹 佐藤貢

徳島県東みよし町立 三加茂中学校長 下川隆

3 実践の語り合い

ラウンドテーブル「各校の取組の検証」

指導助言者 鳴門教育大学 教職大学院教員

徳島県立総合教育センター 指導主事

5. 実施の様子等を具体的に記載してください。

当日、研修受講者は、小グループに別れ、各自が用意してきた実践レポートをもとに、約半年間の実践を語り合った。一人が語り終わると、その語りに対して、他の受講者や大学教員から意見が出されたり、質疑応答が行われたりした。



成果：Results

※参加者の感想を含め記載してください。

第一に、受講者は、講義を聴くことを通して、実践に有用な知識を獲得していた。例えば、「授業改善の方針をしめしていただき、有益な知識収集ができた」との受講者からの感想が見られた。

第二に、自らの実践を語ることを通して、その実践を整理し、その実践の意味を振り返ることができたことがうかがえた。

第三に、他者の実践を聴くことを通して、他者の実践を自らの実践に生かして行こうとする感想がみられた。例えば、「同じキャリアの現職教員と意見交換や情報の共有ができたことは、大変有益であり実践を見つめ直すよい機会となった」との受講者からの感想が見られた。

第四に、実践を語り合う中で、他者の実践に共感したり、自分の実践が共感されたりしたことにより、日頃のストレスが解消される様子が見られた。

このように、今回の事業では、受講者である主幹・指導教諭が、自ら課題を設定し、自律的にその課題解決に取り組むことを、講義や、受講者相互の語り合いを行うことを通して支援してきた。これらのことは、主幹・指導教諭のキャリアアップやメンタルヘルスの維持にも、寄与していたことがうかがえた。